

本興寺だより

令和四年
一月
第二九号

「それ月は清水に影をやどす 濁水にすむ事なし」

(宗祖 諫曉八幡抄)

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

一年を振り返れば、想定していなかった多くの出来事がありました。喜びもあれば、辛い悲しい体験もあります。いろいろな思いを含んで、今年新たな年の入り口に、生きて立っていることには素直に感謝の気持ちが大変なのだといわれます。

人の年齢は一九四九年に満年齢に一本化されましたが、それ以前は数え歳で計算するのが一般的でした。**数え歳**とは、生まれた日を一歳と数え、翌年の元旦に年を重ねることです。元旦に国民全体が等しく新たな年を無事に迎え、年を重ねられたことを祝う気持ちが新年の「おめでとうございます」の意味でもあります。

厄年や長寿の祝いのように、人の年齢は本来**数え歳**が基準です。誕生以前の胎児としての期間と、それ以前の受胎する精子と卵子の成熟期間を含めて一年な



のです。従って、生まれた時がゼロ歳ではなく一歳が本当なのです。人の因縁運命は数え歳によって変化を知ることが出来るのだと云われます。

新年が明ければ、誰もが清らかな志を立てて、昨年を反省し、希望の持てる一年にしようと思えます。

しかし時が経つと思えば、おりにいかない現実、心が輝きを失い濁ってきます。そういう時には**新年の美しい初心の心を何時でも取り戻すことが大事**なのだといわれます。ご**神仏・諸天善神は正直で美しい心に住まわれる**のです。

冒頭の文のように、月は澄んだ清い水にその影を映します。濁った水に月影は映らない。流れる水には月影は揺らぎます。私達の心も澄んだ清い水のように綺麗な心を持たないといけないと説かれています。心が動揺したり、我欲に流される生き方をすれば、**神仏の救いとご加護の力が届かない**ということです。

綺麗な心とは感謝と助け合いの心を忘れず、人智を超えた**神仏の存在を信じ**てその教えを行ずる中で培われてくると云われます。

正月の「しめ飾り」は一年の健康と安泰を願って神々を家庭に迎える目印として飾ります。自宅に飾るのは、「この家の住人は**神仏を信じ**、清い心を持って

いますから神様をお迎えするのにふさわしい神聖な所であります」と神々に示すためであります。単なる習慣として行うのではなく、その形式や行事を生み出した心を知り、真心で行うことが大事なのです。

お供えする**鏡餅**もそうです。皇位の象徴である三種の神器（鏡・剣・勾玉）のうちの鏡は神が宿る神聖なものです。正月の年神様の依り代（魂の宿る処）となる丸い餅を先の鏡に模して「**鏡餅**」といいます。

鏡餅の大小二段（重ね）は、自然界の陽の気と陰の気を表し、天と地・東西南北を拝して災いを除き新年の繁栄を願うため**四方を魔除けの紅でふち取った色紙**に載せます。

餅は神様の魂が宿っているのでお雑煮をはじめ残さず食べてパワーを頂く意味があります。餅のように、どんな時でも心を丸く、角を立てず、困難な時でも心がすぐちぎれることなく、餅のような粘り強い忍耐力を持って歩むことを心に留めることが大切です。

しめ飾りやお餅に用いる**橙**（だいだい）は、冬に実が熟しても枝に付いたまま何年も落果せず、一本の木に何代もの実が付きまします。長寿と家族の繁栄の象徴です。正月の行事にはこの一年を絶えず初心を忘れず努力し、神仏のご加護を頂き、**睦（むつみ）の和の心**を持って無事に過ごせますよという、祈りと願いが込められています。



人は過去を振り返れば、満足することも逆に心残りなこともあります。良くなかったことは後悔よりも今後改善する課題としてとらえ、何事も前向きに進みたいものです。

正月は自分の過去の生き方・考え方を全て見つめ直して正していく**月**です。人は皆社会の中でまじめに一生懸命に生きていくつもりでも、対人関係での悩みも尽きませんが、好き嫌い、損得を超えて多くの人々と

睦（むつみ）仲良く助け合うが大切であり、それが自身の命が最も輝くことを教えています。**一月を睦月（むつぎ）**とも言うゆえんです。

本年は壬寅（みずのえとら）五黄土星の年です。内在するエネルギーが増大して、物を生み出すにも破壊させるにも強い影響を及ぼしやす**い象意**がある年です。

多くの震災や戦争の勃発が五黄土星の年に起こっています。悪に向かえば**国際情勢**を大きく変化させるような事象が起こりやすい年です。「備えあれば憂いなし」の心がけが大切な年です。

人の心も同じです。心の中で地震（根底からの動揺）や噴火（感情の爆発）を起こさない穏やかさが、より必要な年です。今年も健康で、事故や災害にも遭遇せず、誰もが平穏な日々を過ごして欲しいものです。

本年も宜しくお願い致します。 合掌

本興寺住職 中谷 聰 秀